

# J R 総連通信

2024年7月22日 No.1761

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

**「米兵による性暴力を許さない！  
政府は隠ぺいするな！日米地位協定の抜本的改定を！  
7・19 国会議員会館前行動」に参加！**

7月19日(金)、総がかり行動実行委員会などの呼びかけによる「米兵による性暴力を許さない！政府は隠ぺいするな！日米地位協定の抜本的改定を！国会議員会館前行動」が取り組まれ、市民団体、労働組合など主催者発表で約750人が結集しました。



JR総連は、JR東労組・JR貨物労組の仲間、9条連の仲間とともに約50名で参加し、「米兵による性暴力を許さない」「憲法9条改悪反対」「日米地位協定改定」の声をあげてきました。

主催者を代表して、憲法共同センターの米山敦子氏は「6月に発覚した沖縄の米兵による少女暴行事件と、事件を隠ぺいした日本政府に対して満身の怒りを込めて抗議する」と語りました。その後、連帯する野党議員や市民団体の代表がスピーチに立ち、「日米地位協定を抜本的に改定し、辺野古新基地建設を許さず沖縄の基地を撤去させ、岸田政権による『戦争する国づくり』をやめさせよう」などと訴えました。

JR総連は軍備増強・戦争体制強化に反対し、憲法9条を守り抜くため、そして米兵による性暴力を許さず、安心して暮らせる社会とするため各単組、9条連の仲間、市民団体の方々などと、連帯してたたかっていきます！

「19日行動」は、2015年9月19日に強行成立させられた安保法制（戦争法）の廃止を求め、国会議員会館前を中心に毎月19日におこなわれています。